

秘 基幹統計調査



この調査は，統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので，ありのままを記入してください。

平成 26 年 全 国 消 費 実 態 調 査

家 計 簿 A



月 分

都道府県市区町村番号	調査単位区符号	一連世帯番号	世帯の別		世帯区分			世帯人員	就業人員
			1 2 人 以 上	2 単 身	1 勤 労	2 勤 労 以 外	3 無 職	人	人



I 口座自動振替による支払

○「1」～「30」以外のものについては、「支払内訳」の種類、品目別に今月の支払額を記入してください。

○クレジットカード、掛買い、月賦による購入分の支払をしたときには、「カード払い 掛買い 月賦」欄に「○」を記入してください。

○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

支払内訳（種類 品名等）			カード払い 掛 買 い 賦	今月の支払額 (円)
1	電 気 料 金	(月分)		
2	都 市 ガ ス 料 金	(月分)		
3	プロパンガス料金	(月分)		
4	水 道 料 金	(月～ 月分)		
5	NHK放送受信料	(月～ 月分)		
6	ケーブルテレビ受信料	インターネット 接続料を含む (月分)		
7		インターネット接続 料を含まない (月分)		
8	その他の受信料 () (月分)			
9	インターネット接続料 (月分)			
10	固 定 電 話 料 金 (月分)			
11	携 帯 電 話 料 金 (月分)			
12	うち 他社代行請求分 (有料サイト利用料等)			()
13	うち 機器代金分割支払分 (電話機器代金等)			()
14	新 聞 代	一般的な中央・地方新聞 (英字 スポーツ紙を含む) (月分)		
15		業界紙など (月分)		
16	住宅ローンの返済 (月分)			
17	家 賃 (月分)			
18	共益費又は管理費 (月分)			
19	月極駐車場料金 (月分)			
20	学 校 給 食 費 () (月分)			
21	学 校 授 業 料 () (月分)			
22	P T A 会 費 () (月分)			
23	学 校 教 材 費 () (月分)			
24	保育所の保育料 () (月分)			
25	幼稚園の保育料 () (月分)			

I 口座自動振替による支払(つづき)

支払内訳(種類 品名等)		カード払い 掛買賦 月	今月の支払額 (円)
26	国民年金掛金 (月分)		
27	国民健康保険料 (月分)		
28	個人住民税 (月～ 月分)		
29	固定資産税・都市計画税		
30	保険料(積立・掛け捨て) (, 月分)		
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
合 計			

Ⅱ 現物(現物支給, もらい物・もてなし, 自家産, 自分の店の商品)

○現物とは, 勤め先から支給された定期券, よそからのもらい物・もてなしを受けた場合(もらい物), 自家産の野菜や自分の店の商品などを家計用として取り入れたり, 贈答用に使用した場合をいいます。

○該当するものがあつた場合, その品名, 「だれから」あるいは「だれへ」など, 内容をできるだけ具体的に記入してください。

○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

品 名		現 物						金 額 (市 価 見 積 額) (円)
		1 現 物 支 給	2 も ら い 物 ・ も て な し	3 自 家 産 (家 計 用)	4 自 家 産 (贈 答 用)	5 自 分 の 店 の 商 品 (家 計 用)	6 自 分 の 店 の 商 品 (贈 答 用)	
日	1							
日	2							
日	3							
日	4							
日	5							
日	6							
日	7							
日	8							
日	9							
日	10							
日	11							
日	12							
日	13							
日	14							
日	15							
日	16							
日	17							
日	18							
日	19							
日	20							

Ⅱ 現物(現物支給, もらい物・もてなし, 自家産, 自分の店の商品)(つづき)

品 名		現 物						金 額 (市 価 見 積 額) (円)
		1 現 物 支 給	2 も ら い 物 ・ も て な し	3 自 家 産 (家 計 用)	4 自 家 産 (贈 答 用)	5 自 分 の 店 の 商 品 (家 計 用)	6 自 分 の 店 の 商 品 (贈 答 用)	
日	21							
日	22							
日	23							
日	24							
日	25							
日	26							
日	27							
日	28							
日	29							
日	30							
日	31							
日	32							
日	33							
日	34							
日	35							
日	36							
日	37							
日	38							
日	39							
日	40							

当てはまる番号を
○で囲んでください。



Ⅲ 現金収入又は現金支出

日

記入上の注意

- 日付は毎日記入してください。
- 収入・支出が全くない日は、「支出なし」と記入してください。
その際、このページの「本日の現金残高」欄に前日記入したページの「本日の現金残高」を記入してください。
- 1ページに記入しきれない場合は、次の「Ⅲ 現金収入又は現金支出」のページに記入してください。
ただし、その場合は、各ページごとに「現金収入」、「現金支出」の合計金額を記入します。

現金収入

- 家計上の収入があった都度記入し、現金による収入だけでなく、口座に振り込まれた収入も記入してください。
- 収入は、税金などが差し引かれる前の総額で、だれの収入か、収入の種類・内訳がわかるように記入してください。
- 給料や賞金から引かれる税金、健康保険料、厚生年金保険料、財形貯蓄などの控除額は「現金支出」欄に記入してください。

現金支出

- 「しょう油」、「Tシャツ(太郎)」、「かぜ薬」などのように個々の品名を具体的に記入してください。
 - クレジットカード、掛買い、月賦、電子マネーによる購入は右のページに記入してください。
 - 贈答用や離れている家族に送るために購入した場合は、品名の後にその用途(使用目的)がわかるように具体的に記入してください。
- 「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

収入の種類又は 支出の品名及び用途		現金収入 (預貯金引き出し 借入金を含む) (円)	現金支出 (収入からの控除 預貯金預け 入れ 借入金返済を含む) (円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
このページの合計			
本日の現金残高		円	

➡ 左のページと同じ日について記入してください。

日

Ⅳ クレジットカード、掛買い、月賦、電子マネーによる購入

記入上の注意

○クレジットカード、掛買い及び月賦で購入したときの金額は、購入金額の総額を記入してください。

○月々の支払、頭金や手付金の支払は、ここには記入せず、「Ⅰ 口座自動振替による支払」又は、

「Ⅲ 現金収入又は現金支出」に記入してください。

支払方法

○「エディオン クレジットカード6回払い」や「雑誌(nanaco)」などのように個々の品目を具体的に記入してください。

○贈答用や離れている家族に送るために購入した場合は、品名の後にその用途(使用目的)がわかるように具体的に記入してください。

○クレジットカード、掛買い及び月賦で購入したときは、「1」(一括払い)又は「2」(分割払い)を「○」で囲んでください。

○プリペイド(前払い)方式の電子マネーにクレジットによるチャージを行った場合や、オートチャージが行われた場合は、「1」(一括払い)を「○」で囲み、「電子マネーにチャージ」又は「電子マネーにオートチャージ」と記入し、金額欄に金額を記入してください。

○プリペイド(前払い)方式の電子マネーで商品・サービスを購入したときは、「3」(電子マネー)を「○」で囲み、ポストペイ(後払い)方式の電子マネーで商品・サービスを購入したときは、「1」(一括払い)を「○」で囲んでください。

○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

品 名 及 び 用 途 支 払 方 法		ク レ ジ ット 掛 月	ジ ット 買 賦	3 電 子 マ ネ ー	金 額 (円)
		1 一 括 払 い	2 分 割 払 い		
1		1	2	3	
2		1	2	3	
3		1	2	3	
4		1	2	3	
5		1	2	3	
6		1	2	3	
7		1	2	3	
8		1	2	3	
9		1	2	3	
10		1	2	3	
11		1	2	3	
12		1	2	3	
13		1	2	3	
14		1	2	3	
15		1	2	3	
16		1	2	3	
17		1	2	3	
18		1	2	3	
19		1	2	3	
20		1	2	3	

秘

基幹統計調査



この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

平成 26 年 全 国 消 費 実 態 調 査

家 計 簿 B



月 分

都道府県市区町村番号	調査単位区符号	一連世帯番号	世帯の別		世帯区分			世帯人員	就業人員
			1 2人以上	2 単身	1 勤労	2 勤労以外	3 無職	人	人



総務省統計局

Ⅲ 現金収入又は現金支出

記入上の注意

- 日付は毎日記入してください。
- 収入・支出が全くない日は、「支出なし」と記入してください。
- その際、このページの「本日の現金残高」欄に前日記入したページの「本日の現金残高」を記入してください。
- 1ページに記入しきれない場合は、次の「Ⅲ 現金収入又は現金支出」のページに記入してください。
- ただし、その場合は、各ページごとに「現金収入」、「現金支出」の合計金額を記入します。

現金収入

- 家計上の収入があった都度記入し、現金による収入だけでなく、口座に振り込まれた収入も記入してください。
- 収入は、税金などが差し引かれる前の総額で、だれの収入か、収入の種類・内訳がわかるように記入してください。
- 給料や賃金から引かれる税金、健康保険料、厚生年金保険料、財形貯蓄などの控除額は「現金支出」欄に記入してください。

現金支出

- 「しょう油」、「Tシャツ(太郎)」、「かぜ薬」などのように個々の品名を具体的に記入してください。
- クレジットカード、掛買い、月賦、電子マネーによる購入は右のページに記入してください。
- 贈答用や離れている家族に送るために購入した場合は、品名の後にその用途(使用目的)がわかるように具体的に記入してください。

購入地域

- 東京23区に現住居がある世帯は、現住居がある区で購入した場合は「1」(同じ市町村)を、都内の他の市区町村で購入した場合は「2」(他の市町村(県内))を○で囲んでください。

購入先

- 同一の品物を、2か所以上の店から購入した場合も、購入先ごとに行を変えて記入してください。
- 「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

収入の種類又は 支出の品名及び用途	現金収入 (円)	現金支出 (円)	購入地域			購入先								
			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			同じ市町村	他の市町村(県内)	他の市町村(県外)	一般小売店	スーパー	コンビニエンスストア	百貨店	生協・購買	ディスカウントストア・量販専門店	通信販売その他	その他	
1			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
13			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
14			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
15			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
このページの合計														
本日の現金残高			円											

都道府県市区町村番号

調査単位区
符

一連世帯番号

世帯の別

世帯区分

抽出区分

世帯人員

就業人員

住宅区分

記入開始

月

日

調査票
番 号

平成26年全国消費実態調査



政府統計

世 帯 票

- 一緒に住んでいる世帯員が5人以上いる場合は、必要とする枚数の世帯票を調査員から受け取って記入してください。

○

記入する欄が○の場合は、右の例のようにぬりつぶしてください。

○

数字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ右の例のように記入してください。

○

記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

○

□と□の欄は記入しないでください。

◎

本票は9月1日現在（単身世帯は10月1日現在）の状態について記入してください。

○の記入例

年の記入例

○平成●西暦

1996年

数字の記入例

縦線1本

すきまを開ける

上につきぬける

角をつける

閉じる

0123456789

はねない

(分らないところがあった場合、問合せに利用いたします)

この調査票は機械にかかけますので汚したり丸めたり最初に折られている以上に折ったりしないでください

I 全世帯員に共通する事項について〔一緒に住んでいる世帯員について(1)から(14)欄に記入してください〕

		電話番号		—		—							
(1)氏名、男女の別及び世帯主との続き柄 〔3か月以上不在の家族はⅡへ〕 ・世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「家計上の主たる収入を得ている人」としてしてください。 ・「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください	(① 世帯員氏名)		☐ 男 ☐ 女	(② 世帯員氏名)		☐ 男 ☐ 女	(③ 世帯員氏名)		☐ 男 ☐ 女	(④ 世帯員氏名)		☐ 男 ☐ 女	
	世帯主の世帯主 配偶者の子	子の世帯主 配偶者の父	世帯主の世帯主 配偶者の母	世帯主の世帯主 配偶者の父	子の世帯主 配偶者の母	世帯主の世帯主 配偶者の父	子の世帯主 配偶者の母	世帯主の世帯主 配偶者の父	子の世帯主 配偶者の母	世帯主の世帯主 配偶者の父	子の世帯主 配偶者の母	世帯主の世帯主 配偶者の父	子の世帯主 配偶者の母
		孫	祖父母	兄弟	他の住み込みの親族	雇人	その他	孫	祖父母	兄弟	他の住み込みの親族	雇人	その他
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(2)満年齢		□□□ 歳		□□□ 歳		□□□ 歳		□□□ 歳		□□□ 歳		□□□ 歳	
(3)配偶者の有無		☐ 配偶者あり ☐ 配偶者なし		☐ 配偶者あり ☐ 配偶者なし		☐ 配偶者あり ☐ 配偶者なし		☐ 配偶者あり ☐ 配偶者なし		☐ 配偶者あり ☐ 配偶者なし		☐ 配偶者あり ☐ 配偶者なし	
(4)就業・非就業の別		就 業 非 就 業		就 業 非 就 業		就 業 非 就 業		就 業 非 就 業		就 業 非 就 業		就 業 非 就 業	
・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人をいいます ・上記以外の派遣されている人（デパートの派遣店員など）は、派遣元の事業所における呼称について記入してください ・契約社員、嘱託などは「その他」に記入してください		雇用されている人		左記以外の人		雇用されている人		左記以外の人		雇用されている人		左記以外の人	
		☐ 正規の職員・従業員 ☐ パート・アルバイト ☐ 労働者派遣事業所の派遣社員 ☐ そ の 他	☐ 会社などの役員 ☐ 自営業主 ☐ 家族従業者 ☐ 内 職	☐ 正規の職員・従業員 ☐ パート・アルバイト ☐ 労働者派遣事業所の派遣社員 ☐ そ の 他	☐ 会社などの役員 ☐ 自営業主 ☐ 家族従業者 ☐ 内 職	☐ 正規の職員・従業員 ☐ パート・アルバイト ☐ 労働者派遣事業所の派遣社員 ☐ そ の 他	☐ 会社などの役員 ☐ 自営業主 ☐ 家族従業者 ☐ 内 職	☐ 正規の職員・従業員 ☐ パート・アルバイト ☐ 労働者派遣事業所の派遣社員 ☐ そ の 他	☐ 会社などの役員 ☐ 自営業主 ☐ 家族従業者 ☐ 内 職				
		☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない (10)へ		☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない (10)へ		☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない (10)へ		☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない (10)へ		☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない (10)へ		☐ 仕事を探している ☐ 仕事を探していない (10)へ	
(5)育児休業の取得の有無		取得している ☐ 取得していない ☐		取得している ☐ 取得していない ☐		取得している ☐ 取得していない ☐		取得している ☐ 取得していない ☐		取得している ☐ 取得していない ☐		取得している ☐ 取得していない ☐	
・9月1日（単身世帯は10月1日）を含む範囲で取得している育児休業について記入してください ・産前産後休業、年次有給休暇の取得による日数は含めないでください		8月までに取得した期間（月単位に切上げ） □□ か月		9月以降、取得する期間（月単位に切上げ） □□ か月		8月までに取得した期間（月単位に切上げ） □□ か月		9月以降、取得する期間（月単位に切上げ） □□ か月		8月までに取得した期間（月単位に切上げ） □□ か月		9月以降、取得する期間（月単位に切上げ） □□ か月	
勤め先又は自営事業	(6)名称												
	(7)事業の内容	産業分類 □□											
(9)勤め先の企業区分及び規模	(8)本人のしている仕事の内容	職業分類 □□											
	①企業区分	☐ 民営 ☐ 自営 ☐ 官公											
		②企業規模 4人以下 5 30 500 1000 人以上 29 499 999 人											
在学者の学校の種別	(10)学校の種別	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高 校 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 専 門 短大・大 学 大学院 学 校 高 専 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐											
	(11)国公立・私立の別	☐ 国公立 ☐ 私 立											
(12)各種学校・塾など		☐ 通っている ☐ 通っていない											
(13)介護をしている状況		☐ 介護をしている ☐ 介護をしていない											
(14)は、40歳以上の世帯員全員について、その方の要介護・要支援認定の状況（認定を受けているか否かなど）を記入してください													
(14)要介護・要支援認定の状況		認定を 要介護認定を 要支援認定を 受けていない 受けている 受けている ☐ ☐ ☐ ・9月1日（単身世帯は10月1日）時点で受けている認定の状況について記入してください											
		居宅サービス・デイサービス・短期入所（ショートステイ）について ☐ 利用している ☐ 利用していない											

II 3か月以上不在の家族について

(15)家計を主に支える人

・家計上の主たる収入を得ている人で、3か月以上不在の人がいる場合に記入してください

・9月1日（単身世帯は10月1日）の前後を通じて3か月以上の期間不在となることが見込まれる場合も記入してください

(16)その他の人

・(15)以外の人で、家計の一部又は全部をこの世帯の収入に頼っている人のうち、3か月以上不在の家族がいる場合に記入してください

(17)子の住んでいる場所

・2人以上の子がいる場合は、最も近くに住んでいる子について記入してください

・未婚の子のほか、既婚の子や、子の配偶者も含みます

(18)あなたの世帯は、過去5年間に罹災証明書を受けたことがありますか

・人的災害によるものを除きます

(19)災害の種類

・複数回に渡り罹災証明書を受けた場合は、直近の災害について記入してください

(20)被災した年月

・(19)の災害により被災した年月を記入してください

・西暦は、4桁で記入してください

(21)被災による転居の有無

・(19)に伴う転居について記入してください

・避難所等に一時避難していたが、元の住居に戻った場合は、「転居したことはない」としてください

(22)単身世帯の形態

あなたが単身世帯である場合のみ記入してください

VI 現住居等に関する事項について

(23)住居の構造

○ 木造（防火木造を除く）

○ 防火木造

○ 鉄骨・鉄筋コンクリート造

○ その他（ブロック造、レンガ造など）

(24)住居の延べ床面積

・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください

千 百 + -

㎡

うち業務用面積

千 百 + -

㎡

(25)住居の建て方

○ 一戸建

○ 共同住宅（アパート、マンションなど）

○ 階建の 階に居住

○ その他（長屋建・テラスハウスを含む）

(26)住居の所有関係

・親の名義の家や子の名義の家に、家賃を払わないで住んでいる場合も「持ち家」に記入してください

○ 持ち家

○ 民営の賃貸住宅

○ 都道府県・市区町村営賃貸住宅

○ 都市再生機構・公社等の賃貸住宅

○ 社宅・公務員住宅（借上げの社宅を含む）

○ 借間

○ 寮・寄宿舎

(27)地代支払の有無

○ 支払っていない

○ 支払っている

(28)住居の敷地面積

・借地の場合も記入してください

・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分（区分所有分）について記入してください

千 百 + -

㎡

(29)住居の建築時期

○ 昭和40年以前（1965年以前）

○ 昭和

○ 平成

○ 西暦

年

(30)住居への入居時期

○ 平成20年以前（2008年以前）

○ 平成

○ 西暦

年

(31)設備の有無(平成元年以降に取得したもの)

・『世帯票の記入のしかた』を参考にして記入してください

・平成元年は、平成1年と記入してください

・西暦は、4桁で記入してください

数量

取得時期

システムキッチン

○ なし

○ あり

(台)

○ 平成

○ 西暦

年

IHクッキングヒーター

○ なし

○ あり

(台)

○ 平成

○ 西暦

年

洗髪洗面化粧台

○ なし

○ あり

(台)

○ 平成

○ 西暦

年

温水洗浄便座

○ なし

○ あり

(台)

○ 平成

○ 西暦

年

床暖房

○ なし

○ あり

(畳)

○ 平成

○ 西暦

年

太陽熱温水器

○ なし

○ あり

○ 平成

○ 西暦

年

太陽光発電システム

○ なし

○ あり

○ 平成

○ 西暦

年

高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ、エコフィール）

○ なし

○ あり

○ 平成

○ 西暦

年

家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファーム）

○ なし

○ あり

○ 平成

○ 西暦

年

家庭用エネルギー管理システム（家電機器や給湯器などを宅内ネットワークにより自動制御し、省エネルギーを促進させるシステム）

○ なし

○ あり

○ 平成

○ 西暦

年

II 3か月以上不在の家族について

2

III 子の住んでいる場所について

IV 被災に関する事項について

V 単身世帯について

この調査票は機械にかかけますので汚したり丸めたり最初に折られている以上に折ったりしないでください

Ⅶ 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

(32)現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除きます)

○ 所有している

○ 所有していない

①

建築時期

○ 昭和40年以前（1965年以前）

○ 昭和

○ 平成

○ 西暦

年

住宅の延べ床面積

千 百 + -

㎡

住宅の構造

木造（防火木造を除く）

防火木造

鉄骨・鉄筋

コンクリート造

その他（レンガ造など）

②

建築時期

○ 昭和40年以前（1965年以前）

○ 昭和

○ 平成

○ 西暦

年

住宅の延べ床面積

千 百 + -

㎡

住宅の構造

木造（防火木造を除く）

防火木造

鉄骨・鉄筋

コンクリート造

その他（レンガ造など）

③

建築時期

○ 昭和40年以前（1965年以前）

○ 昭和

○ 平成

○ 西暦

年

住宅の延べ床面積

千 百 + -

㎡

住宅の構造

木造（防火木造を除く）

防火木造

鉄骨・鉄筋

コンクリート造

その他（レンガ造など）

(33)現居住地以外の土地(住宅用)をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除きます)

○ 所有している

○ 所有していない

①

所在地

都道府県

市郡等

敷地面積

千 百 + -

㎡

②

所在地

都道府県

市郡等

敷地面積

千 百 + -

㎡

③

所在地

都道府県

市郡等

敷地面積

千 百 + -

㎡

二人以上の世帯及び「(22)単身世帯の形態」で「その他」を選択した単身世帯の方は、(32)及び(33)も記入してください

「(22)単身世帯の形態」で「単身赴任」又は「出稼ぎ」を選択した単身世帯の方は、記入する必要はありません

第2面

ご記入ありがとうございました



平成26年全国消費実態調査



耐久財等調査票

平成26年10月末日現在

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

(記入のしかた)

- 数字で記入する欄は、 の枠内に1文字ずつ右の例のように記入してください。
- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
- と の欄は記入しないでください。

数字の記入例

縦線1本、すきまを開ける、上につきぬける、角をつける、閉じる

はねない

- ◎事業用のものは除いてください。また、家計用と事業用で共有している場合で、主として事業用に使用しているものは除いてください。
- ◎中古で購入した場合やよそからもらった場合は、購入又はもらったときを取得時期とします。
- ◎賃貸住宅に最初から備えられていた数量は除いてください。
- ◎購入したシステムキッチンのキャビネットに組み込まれた食器洗い機など、ビルトインタイプの品目も含めてください。

I 家具・電気製品等

品目ごとに所有総数及び取得時期別所有数を記入してください。

品 名	所有 総数	取得時期別 所 有 数			
		過去 1年 以内	過去 1年 を 超 え る 5 年 以 内	過去 5年 を 超 え る 時 期	
(1) ルームエアコン	●	●	●	●	
(2) 空気清浄機	●	●	●	●	
(3) LED照明器具（電球・蛍光灯を除く）	●	●	●	●	
(4) テレビ	●	●	●	●	
(5) ビデオレコーダー（DVD・ブルーレイを含む）	●	●	●	●	
(6) ホームシアター（プロジェクター、スクリーン、レコーダーのセット）	●	●	●	●	
(7) ピアノ・電子ピアノ	●	●	●	●	
(8) サイドボード・リビングボード	●	●	●	●	
(9) 食器戸棚（作り付けを除く）	●	●	●	●	
(10) 食堂セット（食卓と椅子のセット）	●	●	●	●	
(11) 冷蔵庫	●	●	●	●	
(12) 電子レンジ（電子オーブンレンジを含む）	●	●	●	●	
(13) 自動炊飯器（遠赤釜・IH型）	●	●	●	●	
(14) ホームベーカリー	●	●	●	●	
(15) 食器洗い機	●	●	●	●	

品 名	所有 総数	取得時期別 所 有 数			
		過去 1年 以内	過去 1年 を 超 え る 5 年 以 内	過去 5年 を 超 え る 時 期	
(16) 洗濯機	●	●	●	●	
(17) 電気掃除機	●	●	●	●	
(18) パソコン（デスクトップ型）	●	●	●	●	
(19) パソコン（ノート型（タブレットを含む））	●	●	●	●	
(20) タブレット端末	●	●	●	●	
(21) スマートフォン	●	●	●	●	
(22) 携帯電話（PHSを含み、スマートフォンを除く）	●	●	●	●	
(23) ビデオカメラ	●	●	●	●	
(24) カメラ	●	●	●	●	
(25) 書斎・学習用机（ライトिंगデスクを含む）	●	●	●	●	
(26) たんす（作り付けを除く）	●	●	●	●	
(27) ベッド・ソファベッド（作り付けを除く）	●	●	●	●	
(28) 鏡台（ドレッサー）	●	●	●	●	
(29) カーナビゲーションシステム	●	●	●	●	
(30) 電動アシスト自転車	●	●	●	●	

この調査票は機械にかけますので汚したり折ったり丸めたりしないでください

(記入のしかた)

●記入する欄が○の場合は、右の例のようにぬりつぶしてください。

●数字で記入する欄は、○の枠内に1文字ずつ記入してください。

○の記入例

年の記入例

○ 昭和

○ 平成

● 西暦

○ → ●

1996 年

Ⅱ 自動車、自動二輪車及び原動機付自転車

所有している自動車、自動二輪車及び原動機付自転車について、国産・輸入の別、取得時期、初度登録年、種類を記入してください。

○ 外国で生産された日本メーカーの車（逆輸入車）は、国産車としてください。

国産・輸入の別		取得時期	初度登録年(年式)	種 類	
				ハイブリッド・電気自動車	ガソリン・ディーゼル車
自動車	○ 国産車	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ ○	○ ○ ○ ○
	○ 輸入車	○ ○ ○ ○ 年	○ ○ ○ ○ 年	ハイブリッド車 電気自動車	軽自動車 小型乗用車 普通乗用車 乗用車以外 (3ナンバー以外) (3ナンバー)
	○ 国産車	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ ○	○ ○ ○ ○
	○ 輸入車	○ ○ ○ ○ 年	○ ○ ○ ○ 年	ハイブリッド車 電気自動車	軽自動車 小型乗用車 普通乗用車 乗用車以外 (3ナンバー以外) (3ナンバー)
	○ 国産車	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ ○	○ ○ ○ ○
	○ 輸入車	○ ○ ○ ○ 年	○ ○ ○ ○ 年	ハイブリッド車 電気自動車	軽自動車 小型乗用車 普通乗用車 乗用車以外 (3ナンバー以外) (3ナンバー)
原動機付自転車及び自動二輪車	○ 国産車	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 輸入車	○ ○ ○ ○ 年	○ ○ ○ ○ 年	原動機付自転車 普通自動二輪車 普通自動二輪車 普通自動二輪車 大型自動二輪車 (50cc以下) (51～125cc) (126～250cc) (251～400cc) (401cc以上)	
	○ 国産車	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 輸入車	○ ○ ○ ○ 年	○ ○ ○ ○ 年	原動機付自転車 普通自動二輪車 普通自動二輪車 普通自動二輪車 大型自動二輪車 (50cc以下) (51～125cc) (126～250cc) (251～400cc) (401cc以上)	

○ 取得時期と初度登録年は、右詰めで記入してください。

○ 平成元年は、平成1年と記入してください。

○ 記入欄の数を超えて自動車などを所有している場合は、必要とする枚数の耐久財等調査票を調査員から受け取って記入してください。

Ⅲ その他の耐久消費財

I及びIIで記入した品目以外に所有している耐久消費財（一つ当たりの購入価格が10万円以上のもの）がある場合は、品名、所有総数、取得時期別所有数及び購入価格を記入してください。

○ 品名の記入に当たっては、『耐久財等調査票の記入のしかた』を参照してください。

品 名	所有総数	取得時期別所有数				購入価格			
		過去1年以内	過去1年～5年以内	過去5年～10年以内	過去10年以上	同一品目を複数所有している場合は、総購入価格を記入してください。			
	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

○ 記入欄の数を超えて耐久消費財を所有している場合は、必要とする枚数の耐久財等調査票を調査員から受け取って記入してください。

Ⅳ 会 員 権

ゴルフ、スポーツ・レジャークラブ、リゾートクラブなどの会員権で購入価格が5万円以上のものを所有している場合は、所有数及び購入価格を記入してください。	+ -	
	所有数	○ ○
	(十億)(億) 千 百 + -	
購入価格	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	万円



平成26年全国消費実態調査



年収・貯蓄等調査票

平成26年11月末日現在

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

(記入のしかた)

- 数字で記入する欄は、の枠内には数字を1文字ずつ記入してください。
- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
- との欄は記入しないでください。

○の記入例



数字の記入例



I 年間収入について

あなたの世帯の過去1年間(平成25年12月から26年11月)の年間収入(税込み)はだいたいどれくらいになりますか。

- 退職金、土地・家屋、株式などの財産売却によって得た収入及び相続した預貯金など一時的な収入は除いてください。
- 収入のある各世帯員について収入の種類ごとに金額を記入してください。
- 世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「家計上の主たる収入を得ている人」としてください。
- 「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください。
- だれの分かはっきりしないものは、世帯主の分に含めて記入してください。
- 他の世帯員は、③、④のそれぞれ該当する世帯員の合計を記入してください。

収入の種類	①世帯主	②世帯主の配偶者	他 の 世 帯 員	
			③65歳未満	④65歳以上
(1)勤め先からの年間収入 (単身赴任、出稼ぎなどで不在の家族からの収入は、⑨に記入してください。) ※1	(億) 千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(2)農 林 漁 業 収 入 ※2	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(3)農林漁業以外の事業収入 ※3	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(4)内 職 な の 年 間 収 入 ※4	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(5)家賃・地代の年間収入	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(6)公 的 年 金 ・ 恩 給	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(7)企業年金・個人年金受取金	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(8)利 子 ・ 配 当 金	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(9)親族などからの仕送り金	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(10)そ の 他 の 年 間 収 入 (健康保険や雇用保険からの給付、児童手当などを 含めてください。)	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(11)現物消費の年間見積額 ※5	千 百 十 一 万円			

(記入上の注意点)

- ※1 毎月支給される本給、扶養手当、役付手当のほか、超過勤務手当、出来高歩合金、賞与・その他の臨時収入などを含めた勤め先からの収入総額を記入してください。事業経営のかたわら勤めている人の場合、その勤め先からの収入もここに記入してください。
- ※2 米、野菜、果物、魚などの農林水産物の売上高から、農機具、肥料、飼料、漁網などの材料費、支払労賃、事業税、固定資産税などの経営上の諸経費を差し引いた純益を記入してください。
- ※3 売上高から、仕入高、原材料費、人件費、消耗品費、事業税、固定資産税などの経営上の諸経費を差し引いた純益を記入してください。
- ※4 勤め先、事業からの収入以外の収入で、原稿執筆、個人教授、手内職などにより働いて得た収入は、いずれも材料費などの経費を差し引いた純益を記入してください。
- ※5 米、野菜、魚、卵などの自家産物や自分の店の商品を、過去1年間に家計で消費した分の見積額を記入してください。

Ⅱ 貯蓄現在高について

あなたの世帯では、平成26年11月末日現在で貯蓄がいくらありますか。

- 次の貯蓄の種類ごとに現在高を記入してください。
- ここでいう貯蓄には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
- 勤労者財産形成貯蓄に加入している場合は、それぞれ該当する貯蓄の種類に含めて記入してください。

		(億) 千 百 十 一							
(1) ゆうちょ銀行 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構(旧日 本郵政公社)	定期預金・定期積金 定額・定期・積立貯金	☐ あり	→						万円
		☐ なし							
	普通預金・その他の預貯金	☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(2) 銀行 信用金庫・信用組合 農業協同組合 労働金庫 その他の金融機関	定期預金・定期積金	☐ あり	→						万円
		☐ なし							
	普通・当座預金 その他の預貯金	☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(3) 生命保険 損害保険 簡易保険(保険商品・年金商品)		☐ あり	→						万円
	(加入してからの払込総額) ※掛け捨ての保険は含めません	☐ なし							
(4) 貸付信託 金銭信託(額面)		☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(5) 株式・株式投資信託(時価)		☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(6) 債券(額面) 公社債投資信託(時価)		☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(7) その他(社内預金など)		☐ あり	→						万円
	名称を具体的に記入してください	☐ なし							
(8) 合 計									万円
(9) 上記(8)のうち年金制度が組みこまれている貯蓄		☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(10) 上記(8)のうち外貨預金・外債・外国株式		☐ あり	→						万円
		☐ なし							

Ⅲ 借入金残高について

あなたの世帯では、平成26年11月末日現在で借入金あるいは月賦・年賦の未払残高がありますか。

- 借入金の種類ごとに残高を記入してください。
- ここでいう借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めてください。

		(億) 千 百 十 一							
(1) 月賦・年賦の未払残高		☐ あり	→						万円
	※乗用車、電気製品などの耐久消費財や衣類などを 月賦・年賦(分割払い)で購入した場合の未払残高	☐ なし							
(2) 住宅の購入・建築・増改築 土地の購入のための借入金残高		☐ あり	→						万円
		☐ なし							
(3) その他の借入金残高		☐ あり	→						万円
		☐ なし							

記入が済みしたら、もう一度内容を確認して、別にお配りした封筒に入れ、密封して、調査員にお渡しください。